令和５年度　ICTを活用した障害のある児童生徒等に対する指導の充実事業
(病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)
事業成果報告書(概要版)　　京都市教育委員会

１．背景・目的

【本市の現状と課題】

・市内の病院に小・中学校の児童生徒が長期間入院することになった場合
　…転籍のうえ病弱特別支援学校である桃陽総合支援学校が教育保障。
・病院や自宅で療養しながら学習を続ける児童生徒
　…治療や体調等でやむを得ず授業を欠席することがあり、対面授業や同時双方向型配信授業だけでは教育機会の保障として十分でない場合あり。
・桃陽総合支援学校が入院中の児童生徒を対象に実施した聞き取り
　…オンデマンド授業を必要とする児童生徒がいる一方、辛い治療を受けながら意欲的に学習を続けることに難しさを感じている児童生徒がいることが判明。

⇒〇どのようなケースでオンデマンド授業を組み入れることが有効であるか
　〇導入した場合のオンデマンド授業の進め方や学習状況の確認や評価、支援体制づくり、関係機関との連携をどのように行っていくか
　について検討していくことが課題。

【目的】

・児童生徒が、主体的に学習に向かうための支援方法の検討。
・質問に対するフィードバック等、双方向のやりとりを通した出席確認・評価方法の検討。
・児童生徒のニーズに合わせながら、教員の負担ができるだけかからない方法でできる、持続可能なオンデマンド型の授業の在り方を検討。

2．事業の内容：研究全体概要図

2024.2月現在

現状と課題

病院や自宅で療養しながら学習を続ける児童生徒は、治療や体調面でやむを得ず授業に参加できない場合があり、対面授業や同時双方向型配信授業だけでは教育機会の保障として十分でない場合がある。

指導の充実
学習内容の補完
教育機会の保障

効果的なオンデマンド型の授業の在り方を検討

指導内容の精選
「桃陽スタンダード」

教科ごとに最低限押さえておきたい指導内容を精選

精選した内容の教材を作成

体験活動

- 病院外に出ることができない児童生徒に不足しがちな体験を補完する。
- 360度カメラやテレプレゼンスロボットを活用しながら、児童生徒の主体的な姿を引き出す。
- 復学時の、不安を軽減する。

教科学習

実際の授業の録画

○友だちの反応がある→学習意欲の向上
○教員の負担が小さい
●動画の時間が長い

例）Teamsの画面録画
授業風景撮影 etc.

事前作成した授業動画

○動画の時間を短くすることで、視聴のハードルが下がる
○他のオンデマンド教材も活用
●教員の負担が大きい

例）PPTで作成 etc.

児童生徒のニーズは？ ⇔ **教員の負担は？**

【検証】
- 児童生徒が、**主体的に**学習に向かうための支援方法の検討
- 質問に対するフィードバック等、双方向のやりとりを通した**出席確認・評価方法**の検討
- 児童生徒のニーズに合わせながら、教員の負担ができるだけかからない方法でできる、**持続可能**なオンデマンド型の授業の在り方を検討

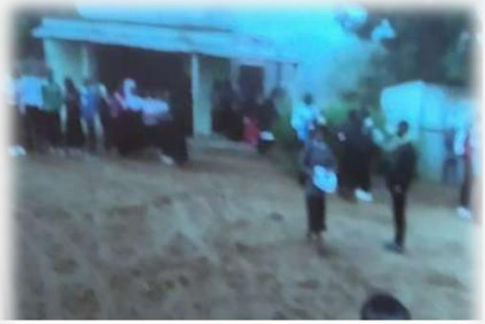
2．事業の内容：体験活動

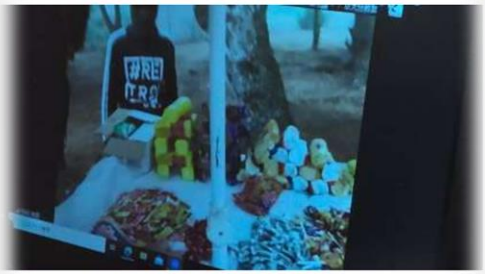
体験活動

- 病院外に出ることができない児童生徒に不足しがちな体験を補完する。
- 360度カメラやテレプレゼンスロボットを活用しながら、児童生徒の主体的な姿を引き出す。
- 復学時の、不安を軽減する。

観る・知る・対話する
社会や人とつながる

「復学に向けて」原籍校の状況を３６０度カメラで撮影

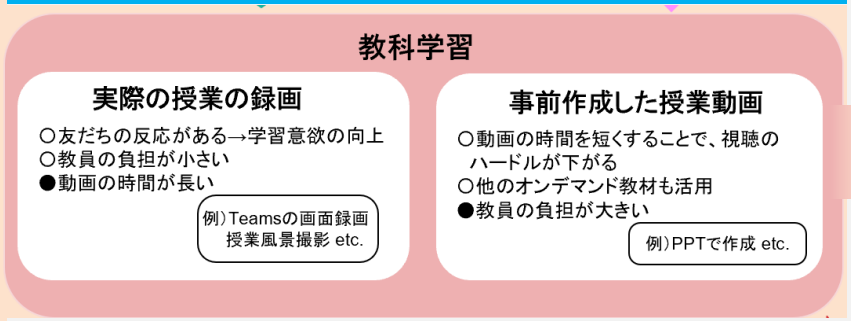




「オンライン国際教育」の授業

各教科等	授業内容	使用ICT機器	ソフト・アプリなど
総合的な学習の時間	**「オンライン国際教育」** ※オンデマンド型 ・分教室中学部1年（2名）	タブレット端末、大型TV、Web会議システム	ー
自立活動	**「復学に向けて」** ※オンデマンド型 ・分教室小学部6年（1名）	タブレット端末、大型TV、360度カメラ	動画配信サイト

2．事業の内容：教科学習



小・中学校の教育課程に準ずる教育を行いながら、弾力的な教育課程を工夫して実施

各教科等	授業内容	使用ICT機器	ソフト・アプリなど
数学	◆オンデマンド型 ◆同時双方向型＋オンデマンド型(※) ・分教室中学部1年(2名)、2年(2名) 「いろいろな連立方程式」ほか	タブレット端末、Web会議システム、ヘッドセット	パワーポイント ロイロノート
保健体育 (保健分野)	◆同時双方向型＋オンデマンド型(※) ・分教室中学部1年(2名)、2年(2名) 「健康の成り立ちと疾病の発生要因」ほか	タブレット端末、Web会議システム、ヘッドセット	パワーポイント
道徳	◆同時双方向型＋オンデマンド型(※) ・分教室中学部1年(1名) 「家族の思いを考える」	タブレット端末、タブレット用ペンシル、Web会議システム	パワーポイント ロイロノート
美術	◆オンデマンド型 ・分教室中学部2年(2名) ・2月「美術展の鑑賞」	VRゴーグル、360度カメラ	動画配信サイト

(※)同時双方向型の授業の中で10分程度、短いオンデマンド動画を視聴する時間を設けた授業構成

２．事業の内容：教科学習（取組例）

・分教室中学2年生
・悪性新生物により、約9か月入院（令和5年2月～10月）
・ベッドサイドでの学習が中心
・「欠席したときはオンデマンドの授業を視聴したい」と申し出あり（6月）
・マンツーマンの同時双方向授業について、「息をつく間がなく辛い」という訴えあり（8月）
・数学、保健体育（保健分野）において、事前作成した授業動画をオンデマンドで視聴

数学　オンデマンド型

- １０分程度の短い授業動画
- 黒板に見立てた画面上で説明
- 出席確認・評価方法：
  ロイロノートへの提出内容、本人への聴き取りで確認

自分のペースで学習を進められた。
取り組みやすかった。

保健体育（保健分野）　同時双方向型＋オンデマンド型

- １０分程度の短い授業動画
- パワーポイントにて説明
- 出席確認・評価方法：
  ワークシート（紙）の記入内容、本人への聴き取りで確認

疲労感（体力の消耗）が少なく、
安心感があり授業が受けやすい

３．成果・課題

【　成果　～オンデマンド型の授業実践から～　】

- 「オンライン国際教育」：指導者と視聴→　内容理解、指導者との信頼関係の深まり
- 「復学に向けて」：エピソードやメッセージの視聴→　不安の軽減、前向きな気持ち
- 新しい視点（オンデマンド型の授業の研究）→　他の授業・取組の見直し
- ノウハウの集積　→　他の各教科等で活用

◆ 主体的に学習に向かう姿：学習保障＋心理的な安定＋対話的な授業

◆ 出席確認・評価方法：提出物＋聴き取り→フィードバック

◆ 持続可能なオンデマンド型の授業：作成方法の共有、コンテンツの保存・活用等

※　校内で授業動画を作成するのにかかる時間：内容等による
（普段の教材研究と同様・または２～３倍の時間程度）

【　課題　】

- 病気療養中の子どもの実態（多様なニーズ）に対応　←　事例を全体で共有
- 自ら学びに向かう姿を引き出す支援方法の検討　←　「紹介動画」作成など
- 児童生徒の病状に合わせた、持続可能なオンデマンド型の授業の実施